

Case Study J-2

JULABO FP51-SL

ケーススタディ
2012年6月
1/2 ページ



目的

10 リットルの Buchi 社二重ジャケットガラスリアクターで冷却テスト（到達最低温度の測定）を実施。

テスト条件

*JULABO 装置 : FP51-SL (230V)

*アプリケーション : Buchi ミニパイロット 10L

(10ℓ 二重ジャケットガラスリアクター)

- 攪拌スピード=500rpm
- 攪拌翼=インペラー型
- 接続チューブ

(JULABO 社メタルチューブ 3.0m、往復)

*周囲温度 : 25.5℃

*槽液 : メタノール

*リアクター内液量 : 10ℓ

*サーキュレーター内液量 : 11ℓ

*詳細環境 : 外部 pt100 温度センサー、

*PC ソフト EasyTempProfessional による遠隔制御



FP51-SL

*テスト結果

	温度範囲	時間
冷却時間 (リアクター内)	+25℃~-10℃	約 33 分
	+25℃~-20℃	約 47 分
	+25℃~-30℃	約 1 時間 15 分
	+25℃~-35℃	約 1 時間 52 分

*サーキュレーター 最低到達温度 -42.28℃

*リアクター (ミニパイロット) 最低到達温度 -38.27℃

Case Study J-2

JULABO FP51-SL

ケーススタディ
2012年6月
2/2 ページ



Buchi 社 minipilot10

冷却中のリアクター



JULABO FP51-SL 冷却曲線
(Buchi minipilot10_10L合成反応容器) RT : 25.5°C

